

農研速報

2025年12月24日発行

茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町3974

TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育概況(龍ヶ崎市、最終版)

地域名	生育(作柄・品質)概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	<p>龍ヶ崎市における2025年の気象と大豆の生育経過、成熟期の生育および収量、品質の平年との比較は以下のとおりである。</p> <p>1) 気象(6月第4半旬～10月第6半旬)</p> <p><u>日平均気温</u>: 6月はかなり高く(平年差+3.8°C)、7月は高く(平年差+1.8°C)、8月～9月は高く(平年差+1.2°C)、10月はやや高かった(平年差+0.7°C、図1)。</p> <p><u>降水量</u>: 6月は平年比11%と少なく、7月は平年比81%と平年並で、8月～9月は平年比82%と平年並で、10月は平年比96%と平年並であった(図2)。</p> <p><u>日照時間</u>: 6月は平年比170%とかなり長く、7月は143%と長く、8月～9月は平年比110%とやや長く、10月は平年比55%とかなり短かった(図3)。</p> <p>2) 生育経過</p> <p><u>里のほほえみ</u>: 平年より出芽期は6月27日と3日遅く、開花期は7月30日と1日早かった(表1)。播種後35日の地上部の生育は、平年並～やや上回った。播種後67日の地上部の生育は、地上部生体重はやや軽かったが、その他の項目では平年並～平年をかなり上回った。播種後97日の一株莢数はかなり多かったが、一株莢重はやや軽かった(表2)。</p> <p><u>納豆小粒</u>: 平年より出芽期は6月27日と3日遅く、開花期は8月7日と平年並であった(表1)。播種後35日の地上部の生育は、平年並であった。播種後67日の地上部の生育は、一株莢重はかなり軽かったが、その他の項目では平年並～平年をやや上回った。播種後97日の一株莢数はやや多く、一株莢重はやや重かった。(表2)。</p> <p>3) 成熟期の生育および収量、品質</p> <p>里のほほえみの成熟期は6日遅く、納豆小粒の成熟期は4日遅かった。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。</p> <p><u>里のほほえみ</u>: 成熟期は6日遅かった。倒伏はかなり少なく、青立ちはやや少なかった。地上部の生育は、主茎長はやや短く、主茎節数は平年並で、分枝数はやや多く、茎の太さはかなり太かった。百粒重は平年並で、稔実莢数はかなり多く、不稔莢数は平年並であったため、子実重は50.0kg/aと平年よりかなり重かった。外観品質は平年よりやや優れた(表1)。</p> <p><u>納豆小粒</u>: 成熟期は4日遅かった。倒伏および青立ちはかなり少なかった。地上部の生育は、主茎長は平年並で、主茎節数はやや多く、分枝数は平年並で、茎の太さはかなり細かった。百粒重は平年並で、稔実莢数はかなり多く、不稔莢数はやや多く、子実重は52.0kg/aと重かった。外観品質は平年並であった(表1)。</p>

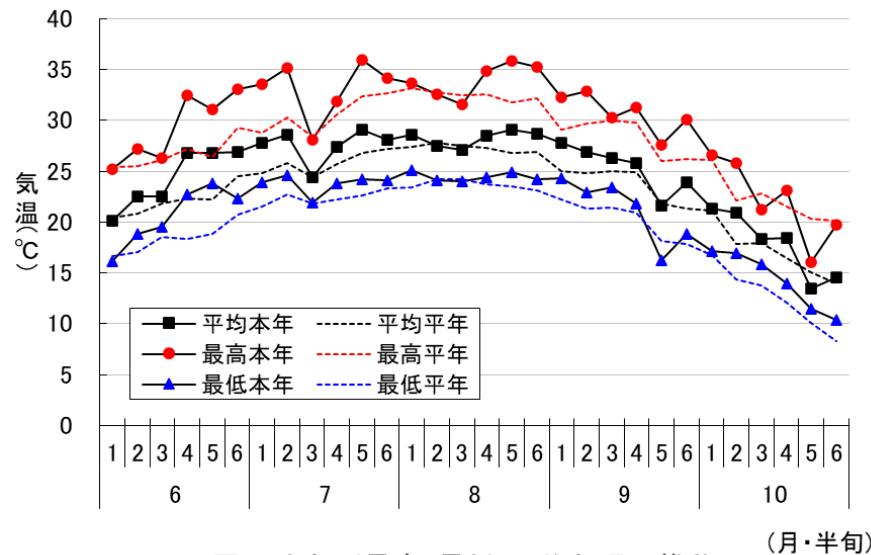


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移

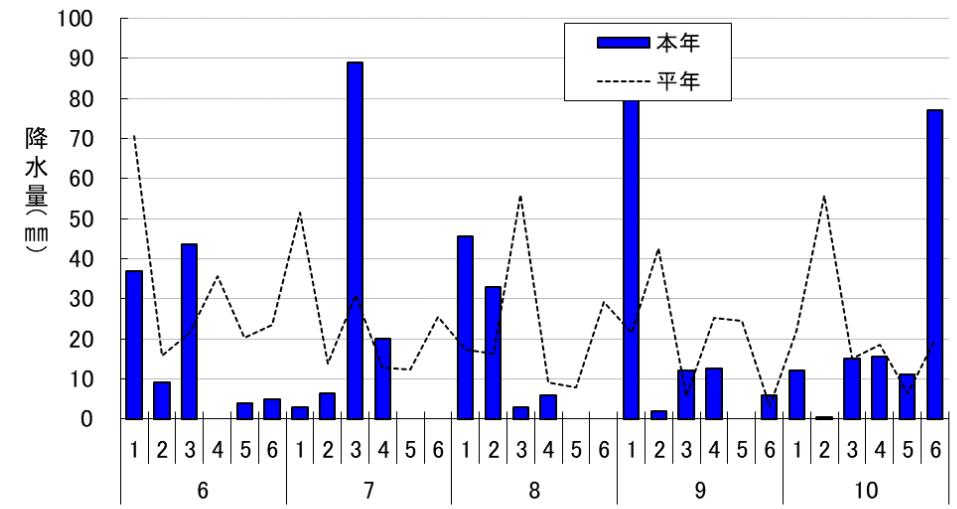


図2 半旬別降水量の推移

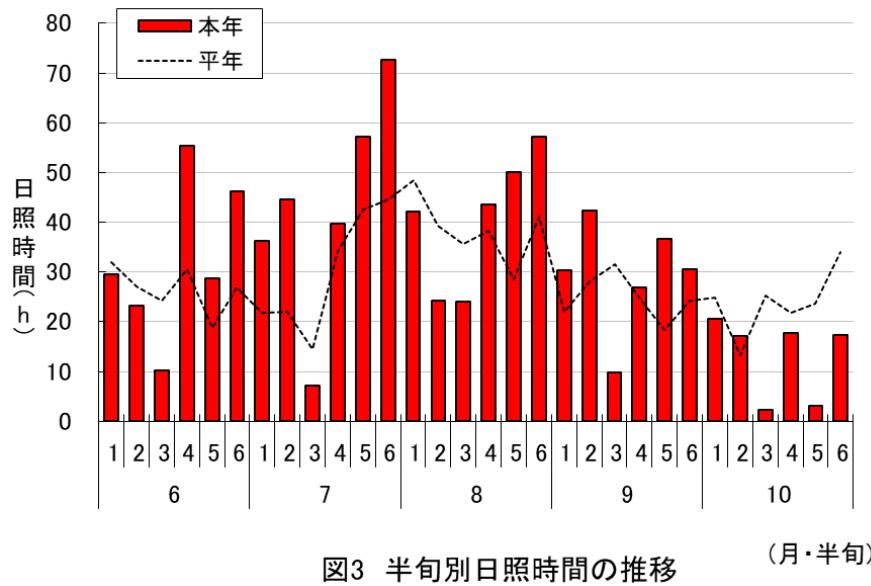


図3 半旬別日照時間の推移

表1 輪換畑における大豆の生育、収量、品質（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品種	出芽期		開花期		成熟期		倒伏程度		青立程度		主茎長		主茎節数		分枝数	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比
	(月日)	(日)	(月日)	(日)	(月日)	(日)	(0-5)	(0-5)	(cm)	(%)	(節)	(%)	(本/株)	(%)		
里のほほえみ	6.27	3	7.30	-1	10.29	6	0.0	-1.2	1.0	-1.2	56	92	15.0	97	5.3	119
納豆小粒	6.27	3	8.07	0	10.31	4	0.0	-3.0	0.0	-1.0	67	98	17.5	108	10.0	104
茎の太さ		全重		稔実莢数		不稔莢数		子実重		百粒重		外観品質				
品種	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年		
	(mm)	(%)	(kg/a)	(%)	(莢/株)	(%)	(莢/株)	(%)	(kg/a)	(%)	(g/100粒)	(%)	(1-7)			
里のほほえみ	13.4	117	101.4	141	85.2	150	12.4	101	50.0	143	36.2	96	4.0	-1.8		
納豆小粒	6.2	63	96.8	127	256.1	132	28.6	116	52.0	137	10.9	102	5.0	-0.1		

【注釈】

- 耕種概要と平年値は表1に準ずる
- 茎の太さは、子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 全重は、子葉節で切断した地上部の風乾後の重さ
- 倒伏程度は、主茎傾斜角度により判定し、0（5°以下）、1（6～15°）、2（16～25°）、3（26～45°）、4（46～65°）、5（66°以上）とした
- 青立程度は、0（無）、1（微）、2（少）、3（中）、4（多）、5（甚）とした
- 子実重、百粒重は水分15%換算。子実重は「里のほほえみ」が7.3mm篩上、「納豆小粒」は4.9mm篩上かつ目視で選別した後の重さ
- 外観品質は1（上の上）、2（上の中）、3（上の下）、4（中の上）、5（中の中）、6（中の下）、7（下）とした

【平年値】

令和1年～令和5年播種の5カ年の平均値（令和6年は天候不順により播種期が13日遅れたため除外）

表2 輪換畑における大豆の生育経過（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品種	調査月日 (播種後日数)	主茎長		主茎節数		分枝数		茎の太さ		地上部生体重		一株莢数		一株莢重	
		本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (節)	平年比 (%)	本年 (本/株)	平年比 (%)	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (g/株)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	平年比 (%)	本年 (g/株)	平年比 (%)
里のほほえみ	7.25 (35)	37	102	11.1	109	1.0	89	9.6	116	58.8	107	-	-	-	-
	8.26 (67)	60	102	15.0	108	4.2	93	16.6	131	220.9	83	97.5	114	38.0	106
	9.25 (97)	58	96	14.5	102	4.4	100	13.5	109	299.3	101	84.6	118	105.1	89
納豆小粒	7.25 (35)	29	93	10.8	104	1.4	86	6.6	110	32.0	85	-	-	-	-
	8.26 (67)	67	98	16.5	101	7.5	96	11.2	106	247.0	100	152.9	97	4.1	57
	9.25 (97)	72	102	16.8	102	9.5	99	11.7	108	355.4	110	249.1	113	118.0	110

【耕種概要】

- 圃場来歴：転換2年目（前作麦）
- 播種期：6月20日
- 播種密度：11.1株/m²（畦間60cm、株間15cm）1本立て
- 基肥：N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2kg/a
- 中耕・培土：7月23日（初生葉節まで実施）

【注釈】

- 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定

- 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

令和1年～令和5年播種の5カ年の平均値（令和6年は天候不順により播種期が13日遅れたため除外）



写真 所内大豆の成熟期頃の生育状況(「里のほほえみ」、「納豆小粒」は 2025 年 10 月 29 日撮影)

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。

各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。

さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

